

編集後記にかえて

副読本「わたしたちの大和川」は当会が責任編集し、1999年12月に建設省大和川工事事務所（現国土交通省大和川河川事務所）により発行されました。

流域838校の46%にあたる385小学校に75000冊配布され、活用されてきました。その後、大和川の水質は大きく改善され、2008年度のBOD（生物化学酸素要求量）も3.7mg/Lと環境基準5mg/Lを下回り、アユの遡上が見られるまでになりました。（2011年度は3.2mg/L）

地域の住民運動も2008年3月には、大阪・奈良の団体・個人が大和川市民ネットワークを作り、交流・連携を広げています。子どもたちも、大和川へのプラスイメージを高め、親しみを持ち始めています。行政も2006年9月にChange 変える Collaborate 流域連携 Concentrate 集中の3Cをモットーにして、国や市町村の取り組みを強化してきました。

こうした10年の変化をもちこんだ学習教材をお届けいたします。

学校や地域でご活用いただけると幸いです。

子どもたちは、祖父母・父母など家族との対話や環境教育の実践によって、Think Globally Act Locally 地球規模で考え、足元から行動する力をつけてきています。「山は海の^{こいびと}恋人、川は^{なこうど}仲人」と言われます。生態系^{せいたいけい}エコロジーの環^わの^{かなめ}要としての川への認識がライフスタイルを変え、希望を実現する力になることを期待しています。

「わたしたちの大和川」研究会

「わたしたちの大和川」研究会（50音順）

和泉全史：大阪府教育委員会指導主事 東元信浩：奈良県教育委員会指導主事

黒田伊彦：元大阪樟蔭女子大学講師 小松清生：元堺市立錦小学校教諭

澤井健二：摂南大学教授 谷幸三：元大阪産業大学講師 西林利裕：日本教育研究センター

松好伸泰：天理市立前栽小学校教諭 鈴木俊朗：国土交通省大和川河川事務所所長

執筆者（50音順）

岡本胤継：総合教育研究所 黒田伊彦：大阪樟蔭女子大学講師 小松清生：堺市立東浅香山小

学校教育専門員 澤井健二：摂南大学教授 田中徹：大和川河川事務所河川環境課長

谷幸三：大阪産業大学講師 福岡成和：大和川河川事務所事業対策官 松好伸泰：天理市立

前栽小学校教諭 美濃原弥恵：アクアフレンズ代表

（役職などは2009年度）